

2024年度（令和6年度）事業報告書

社会福祉法人すこう福祉会
ワークハウスわらしへ
わらしへ相談支援事業所
わらしへホーム

法人	法人理念に基づき、安心安全な施設運営に努める。	<p>5月 会計監査、理事会 6月 評議員会 9月 理事会 11月 理事会、評議員会 3月 理事会、評議員会 指定更新 9月 生活介護事業、就労継続支援事業B型 相談支援事業、移動支援事業 2月 共同生活援助事業 2月末で短期入所の指定は更新せず、廃止とした。</p>
	利用者のニーズが多様化、複雑化している。 利用者のニーズに合った事業が行えるよう、情報収集を行う。	入所施設に入所し、入所施設から通所する利用者が増えてきた。 養護学校より、医療的ケアに近い実習生の受け入れを行った。職員配置、環境が整わず、卒業後の利用は難しいと感じるが、地域に受け入れ先がない。 北信圏域からの利用問い合わせが増えているが、送迎の対応ができず利用につながらなかった。
	報酬改定の年度のため、報酬が多くなる取組み、加算の取得を目指す。	生活介護事業は基本単価が利用時間で算定することになり、体調面や送迎の都合で利用時間が短くなる利用者の報酬が減少くなっている。 加算として「入浴加算」が増設された。「重度心身障害の方」が対象であり6名の利用者に入浴時の加算が付くようになった。 就労継続支援事業B型は、人員配置を7.5対1から6対1に変更し、基本報酬が増額した。
	防災対策、感染症対策、虐待防止対策の委員会を法人全体で行い、対策を強化する。	防災対策委員会 毎月開催 感染症対策委員会、虐待防止委員会 隔月開催 台風接近の際、緊急で防災対策委員会を開催し、対応の検討を行った。
	法人全体の職員人材確保をし、適正な職員配置を行う。	職員の療養休暇4名取得（パート職員） うち1名は体調が回復せず、12月末に退職 1月よりパート職員を1名採用、また、パート職員1名がフルタイムパートに変更となり、常勤職員が増えた。 報酬減算になるような人員減はないが、長期に休暇を取る職員が出てくると余裕のない職員配置のため、体制が厳しくなってしまう。
	建物、備品の老朽化、経年劣化での修理や買い替えに対し、更新の計画を立て、補助金等の活用をする。 点検が必要な設備、備品は定期的に業者に点検を依頼する。 突発的な修繕に対して、予算を計上しておく。	浴室天井、床工事について、業者と打ち合わせを行い、11月末に工事を実施、完了した。 ワークハウスわらしへ屋根上にある太陽光の発電ができていないことに気が付き、点検をしていただく。配線が断線している箇所あり、修繕を行った。 12月に浴室ボイラー室の膨張タンクが水漏れ、修理を行った。
	ワークハウスわらしへが2025年度に開所20周年を迎える。開所20周年記念をどのように行うか、2024年度より準備を行う。	9月の開所記念日に、利用者と職員に来年は20周年であることを伝えた。記念になる行事を行う予定。

	<p>コロナ禍で地域との交流が減っていたが、以前行つた避難訓練への協力要請等、地域とのつながりを持つ。</p>	<p>グループホームは「地域連携推進会議」を地域の方を交えて行うよう報酬改定の内容にあり、3月に開催した。 能登半島地震への募金を取組み、4万円程募金が集まり、須坂社協を通して支援をした。</p>																										
就労継続支援事業B型 生活介護事業	正規職員9名、パート職員13名 各部署に必要に応じた職員配置を行う。	6月、7月に職員の休暇が重なり、急遽3週間程、以前もお願いした方に臨時で勤務していただいた。1月より1名パート職員を増員した。また、部門職員の異動を行つた。																										
	就労継続支援事業B型 定員20名 登録者25名	体調不良で前年度から利用がなかった2名が、5月末で退所となつた。 7月より他事業所から1名受入れ、11月より1名受入れ。																										
	生活介護事業 定員20名 登録者30名	4月に養護学校卒業生を1名受入れ。 7月に入院となつた利用者が1名退所。 8月に他事業所へ通所が決まり、1名が退所。																										
	管理者会議、職員会（月1回） 各種ミーティングの継続。	変更なし。																										
	外部研修、資格取得のための研修への出席。	経営協セミナー、工賃向上計画セミナー、強度行動障害支援者研修、サービス管理責任者更新研修（4名受講）、虐待防止研修、安全運転管理者講習、就労アセスメント体制強化研修																										
	年2回の避難訓練実施。 緊急時に備え、業務継続計画を職員間で確認し、必要に応じた見直しを行う。	6月に避難訓練実施 9月に台風接近の予報あり、緊急に防災対策委員会を開催し、休業の判断、連絡方法等確認を行つた。 11月に避難訓練実施																										
	修繕箇所が多くなっている。設備等、点検を行ひながら、長期間使用可能できるよう使用していく。 ＜修理予定箇所＞ <ul style="list-style-type: none">・浴室の天井より水漏れ・豆腐製造室から作業室への水漏れ・食堂洗い場の床からの水漏れ・天井窓のワイヤー不具合場所の修理（2カ所）	<table border="0"> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>食堂、豆腐製造室の水栓修理</td> <td>48,400円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>送迎用リフトバス車検</td> <td>126,550円</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>浴用ヒーター点検</td> <td>159,500円</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>太陽光パワーコンディショナ一点検、修繕 とうふ号シール付け替え</td> <td>82,500円 93,500円</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>ブラインド交換（食堂、介護棟）</td> <td>54,000円</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>送迎車リフトバス（ひまわり号） ウインドウガラスひび割れ修理</td> <td>30,500円</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>浴槽循環ポンプ故障、修理 介護棟誘導灯交換</td> <td>37,000円</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>浴室天井、床修繕 授産棟中央トイレドア交換 豆腐製造室床修繕 洗面漏水工事修理</td> <td>2,310,000円 26,400円</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>浴室温水ヒーター一点検</td> <td>110,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>他、車両の点検、浴用ボイラ一点検、豆腐製造用ボイラ一点検、電気保安協会点検など</p>	4月	食堂、豆腐製造室の水栓修理	48,400円		送迎用リフトバス車検	126,550円	5月	浴用ヒーター点検	159,500円	6月	太陽光パワーコンディショナ一点検、修繕 とうふ号シール付け替え	82,500円 93,500円	8月	ブラインド交換（食堂、介護棟）	54,000円	9月	送迎車リフトバス（ひまわり号） ウインドウガラスひび割れ修理	30,500円	10月	浴槽循環ポンプ故障、修理 介護棟誘導灯交換	37,000円	11月	浴室天井、床修繕 授産棟中央トイレドア交換 豆腐製造室床修繕 洗面漏水工事修理	2,310,000円 26,400円	12月	浴室温水ヒーター一点検
4月	食堂、豆腐製造室の水栓修理	48,400円																										
	送迎用リフトバス車検	126,550円																										
5月	浴用ヒーター点検	159,500円																										
6月	太陽光パワーコンディショナ一点検、修繕 とうふ号シール付け替え	82,500円 93,500円																										
8月	ブラインド交換（食堂、介護棟）	54,000円																										
9月	送迎車リフトバス（ひまわり号） ウインドウガラスひび割れ修理	30,500円																										
10月	浴槽循環ポンプ故障、修理 介護棟誘導灯交換	37,000円																										
11月	浴室天井、床修繕 授産棟中央トイレドア交換 豆腐製造室床修繕 洗面漏水工事修理	2,310,000円 26,400円																										
12月	浴室温水ヒーター一点検	110,000円																										
とうふ製造部門は「長者どうふもめん」の製造、販売を軸にしながら「長者どうふおぼろ」の製造体制と販路拡大を検討する。	おぼろ豆腐の評判がよく、製造を販売会やイベントに合わせて行い、売上の増加を行つたが、もめん豆腐の販売数が減少している。 機械修理をしてくれる業者が撤退してしまったため、今後の修理について検討が必要。																											
軽作業部門は、現状の軽作業を維持しながら、新規の作業の予定があり、利用者の作業意欲向上になるよう新規作業を進めていく。	新規にぶどうの包装紙へのシール貼り作業、選挙チラシにはがきを封入する作業を請けることが出来た。また、資源回収先が増えたが、中旬からノバフォームの材料が減っている。																											
	印刷部門は毎月安定して行える作業を模索していく。作業内容のスキルアップを目指す。	新規に冊子作成の依頼があり、作業が続く予定。前年度より売上が減少している。																										

	<p>入浴支援は安全に入浴介助が行えるよう、介護技術の向上に努める。</p> <p>利用者の重度高齢化に対し、福祉用具を使用し利用者と職員に負担のない介護を行う。</p>	<p>入浴中の事故等なく、安全に入浴介助を行った。福祉用具の活用を継続し、職員の介護負担が軽減されている。</p>
	<p>年間で行事を計画をし、余暇支援を行う。</p>	<p>4月 新年度式 5月 おとうふやさん品評会入賞お祝い会 6月 サンアップル出張スポーツ教室（卓球等） 7月～ 夏季期間 おやつにかき氷の日 9月 開所記念日 10月 20歳のお祝い会 12月 クリスマス会、弁当の日 1月 安全祈願祭 2月 福まき 3月 助け合い推進大会参加、映画鑑賞 3月 思い出のアルバム会</p>
	<p>利用者に安心安全な支援を行えるよう、報告、相談を隨時行い、必要な場合は関係機関と連携を行う。</p>	<p>他の事業所との併用者や、医療との連携が増えていく。支援会議等で関係者と情報を共有している。</p>
	<p>送迎者が増加しているため、随時送迎体制を見直し、スムーズな送迎に務める。職員会時に交通安全講習会を行い、安全意識を高める。</p>	<p>送迎体制は常に見直しを行っている。 4月に利用者が電車内で高校生に不快な行動をしてしまい、ご家族の付添を依頼し、高校生の通学時間を避けて通所するように対策を取った。そのため、須坂駅の送迎を2往復し、別便で対応したが、ご家族が付添での通所を続けていくことが難しくなり、8月末で退所となった。 12月に送迎車両の接触事故あり。運転職員、乗車していた利用者1名に怪我などなし。接触で送迎車が廃車になってしまい、急遽、車いす乗車1名の普通車をリースし、送迎の対応を行った。</p>
相談支援事業	専任職員1名、兼務職員1名	兼務職員が2名から1名に変更。
	地域で相談支援専門員の不足が切実な問題となっている。法人内でできることを検討していく。	指定更新の時期となり、更新手続きを行った。相談支援専門員の不足は解消されず、受任件数は多くなっている。
	利用者に寄り添い、利用者が希望する生活を継続していくよう支援する。	相談があった場合、できるかぎり受け入れを行った。
共同生活援助事業	共同生活援助事業 定員5名 現在利用者5名	利用者に変更なし。 指定更新の手続きを行った。
	短期入所事業 定員1名 現在登録者1名	感染防止対策のため、受け入れ不可。 指定更新はせず、廃止とした。
	正規職員1名 パート職員10名 余裕のない職員配置のため、増員を検討していく。	1月よりパート職員がフルタイムとなり、常勤職員が増えた。
短期入所事業	早番、遅番、夜勤の職員体制を継続し、安心して生活できる場とする 利用者と職員の信頼関係維持に努め、利用者と話し合いを持ちながら充実した生活が出来るよう支援する。	勤務体制に変更なし。 「地域連携推進会議」を行い、利用者、利用者家族、地域の方に参加していただいた。ホーム内の見学、生活の様子を知ってもらう機会となった。
	利用者の健康、衛生面に注意し、食事提供を行う。 食事提供は、食材を注文、配達していただく業者に依頼していく	食材の価格高騰で、食材費が値上げになった。 米の不足時に、おとうふやさんの大豆を販売している業者に米の購入依頼をしたところ、快く販売してくださいました。その後も定期的に購入していくことになった。

医療機関と連携し利用者の健康状態を維持できるよう、通院の付添、相談等を行う。 突発的な病気やけが等に対応する。	通院等付添が増えてきている。 6月にコロナ感染者が発生したが、居室で隔離を行い、感染が広がることはなかった。 11月にもコロナ感染者が発生し、ホーム内で感染が広がってしまったが、みな軽症で済んだ。
職員会、ミーティングの実施。	継続。
食費、水道光熱費、日用品費が物価高騰の影響を受けている。 6カ月ごとに清算し、適切な費用を検討していく。	物価高騰のため、費用の集計をこまめに行い、対策しているが、高騰してから下がることがなく、利用者の負担が多くなっている。
修繕等	10月 ガスレンジ、湯沸し器の交換 540,000円 12月 脱衣室 暖房取付 83,000円
年2回の避難訓練実施。 夜間想定の訓練を行う。 緊急時に備え、業務継続計画を職員間で確認し、必要に応じた見直しを行う。	4月、10月に避難訓練を実施。 災害時に必要な物品の点検、購入等行った。
利用者の希望や意見を傾聴し、ご家族との連絡、調整に努める。 関係機関との連携を行いながら、安心して生活できる場としての役割を担う。	買い物に出掛けたいという利用者の希望から、5月と3月に職員付添で買い物へ出かけることができた。
短期入所再開の検討をし、必要物品を揃える。	短期入所再開の目途が立たず、今年度の更新を行わず、廃止届を提出した。